
人間として避けられぬことのある一つを避けると

迷鳥

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

人間として避けられぬことのある一つを避けると

【Nコード】

N1068Q

【作者名】

迷鳥

【あらすじ】

一度は思ったことがある、そんな迷いを書いています。

キーワードは「幸せに迷いましょう」

(前書き)

人間として避けては通れないことを、
一つだけ避けてとおねるとし
たら……

人として過ごす上で、避けられないものがいくつもある。

例えば、生きていくこと 老いていくこと いずれ生が終わること。要は死ぬこと

他にも上げれば沢山ある。だが、その多くを、まして上記したことも大して知らないような男が、ある日、とある少女と出会った。

「ねえ、人として生きていて避けては通れない事って、何があると思う？」

「へ？ なにいきなり、てか、誰だ？」

「例えば、生き続けることとかなんだけど」

「無視かよ」

「その内の一つを、もしも避けられるとしたら……アナタならどうする？」

「え……？」

その言葉を聞いた途端、男の脳内では、
「一つだけ避けられる？ というか、今までの言葉を聞いただけなら、生き続けることを避けるような感じだけど、今生きている以上、それはもう避けられないから……つまり、死ぬことを避けられるってことか？」

「それは言わないけど、もしも私の言葉を信じてくれるなら、アナタはずっと人に知られることになるよ」

それは……つまりずっと世界にいるということよな？
やっぱり、それは死ぬことを避けることなんだ。

「分かった！ 信じるよ！」

「おっけー じゃあ、これをどうぞ」

少女は男にあるものを渡した。

「これは？」

「それを飲むと、人として避けられることを一つ、避けて通ることが出来るの。ただし、その一つは、アナタが自分で確かめてね。それじゃ」

そのまま少女は男に背を向けて歩きだ……

「ああそうそう」

す直前で再び男の方を向いた。

「もしも何かを試すのなら」

そしてあるアドバイスを残して、今度こそ少女は去って行った。

「……」

一人残った男は、思った。

何かが分からない？ そんなの、死なないことに決まってるじゃないか。

それにあのアドバイス、明らかにそれを証明する以外のなんだと言うんだ。

試すまでもないが、せつかくのアドバイス、それに、ずっと人に知られ続ける第一歩には丁度いい。

良い物をもらったお礼変わりに、試してみようじゃないか。

だが、男には少しばかり、考える力が足りなかった。

建設中のタワーから飛び降り 男性即死

ある日の新聞、その一面は、新聞を読んだ、あるいは少しだけ見た人全ての人の記憶に残った。

そのタワーが、世に生きる人に完成を待ちわびる気持ちがあった中でこの事件。

タワーが完成しても、その事件は知られ続けた。

そのタワーの中に、あの少女がいた。

そして、誰かに語りかけるように、言葉を発していた。

誰に語っているのか、それは誰にも分からず、誰もが分かった。

人として過ごす上で、避けられないものがいくつもある。

例えば、生きていくこと 老いていくこと いずれ生が終わること。

要は死ぬこと

他にも上げれば沢山ある。

その中に、忘れられてしまうところがあるの。
人は記憶して、思いついて、そして忘れる。それらも避けては通れないんだけど、あれはその一つ。

忘れ去られることを避けて通れるものだったんだ

あのアドバイスは、その為の第一歩にして、ゴールへの一直線。
アナタは見事ゴールにたどり着いたんだよ。

まあ幸せなゴールじゃないけど

人として避けられないことを一つだけ避けたアナタは

アナタは、誰にも忘れられなくなったんだよ

(後書き)

生きること 死ぬこと 成長すること 老いること 知恵をえること
食物をとること 水分をとること 疲れること 呼吸すること
眠ること 起きること 欲求をえること 欲求を解消しようとする
こと

……このくらいでしょうか。

もしも他にもあれば、もしくは何か一言ありましたら、
お待ちしています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1068q/>

人間として避けられぬことのある一つを避けると

2011年1月16日02時09分発行